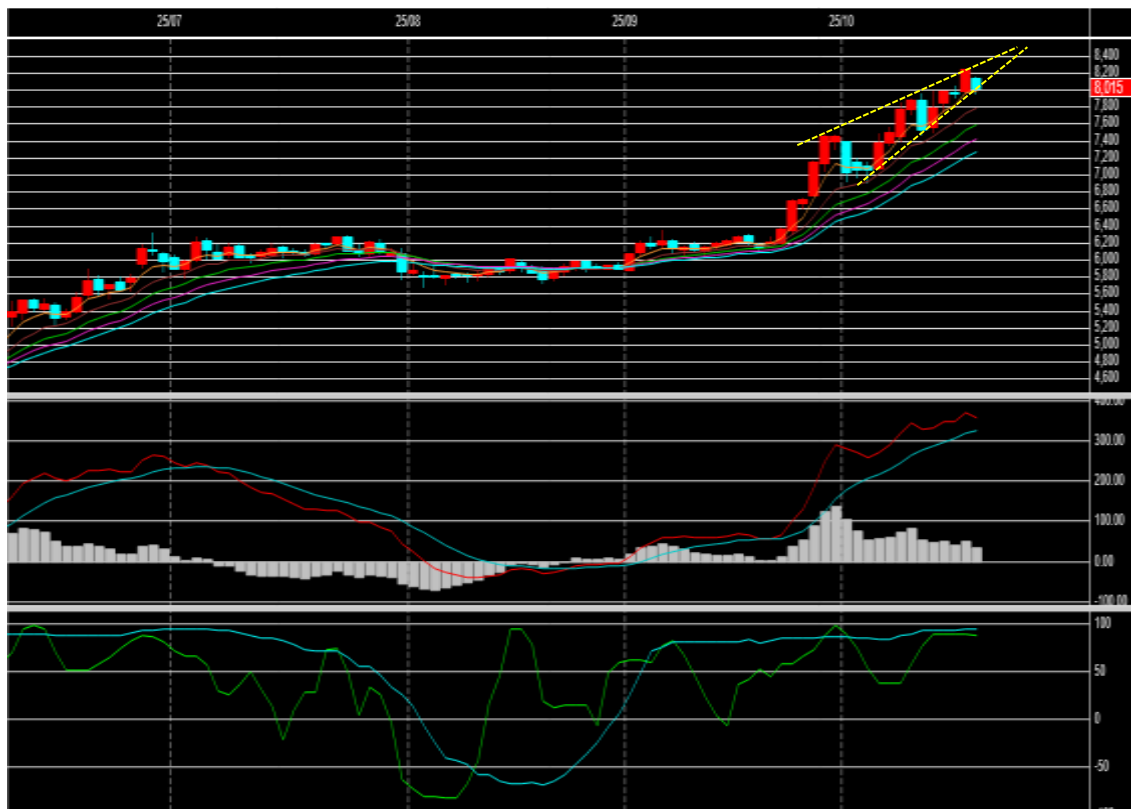


<白金標準、上昇ウェッジからの修正安に注意・・・>



(出所：オアシス)

金価格の異常な上昇に連動したシルバーの値動きも史上最高値を更新している。特にロンドン市場のシルバーのリースレートが30%を上回り、シルバー価格が1930年のハント兄弟の買い占めで付けた史上最高値を更新するなど、NY市場のシルバー価格をロンドンが上回り、NY市場からロンドン市場へ300トン以上のシルバーが移動している。特にシルバーは8月に重要鉱物の指定を受け、関税要因で買われだしている。そのため白金価格も金価格やシルバーに連動し、シルバー同様に2022年に重要鉱物の指定を受けており、10月中には重要鉱物の関税が発表される事もあり、高値追いを見せていた。

しかし週末にトランプ大統領が対中国に対する関税に対し融和的な発言を行い、ベッセント財務長官も何副主席とAPECを控えて協議を行うと発表するなど、信用リスクが後退している。特に景気商品である白金価格は、地銀2行の株価が不正の疑いがある融資の問題を明らかになると「一匹のゴキブリを見つけた事から、隠れたゴキブリが存在する」の信用リスクが高まりを示しており、金価格に連動し買われ過ぎた反動の動きに注意が必要であり、白金標準はチャートパターンが示す上昇ウェッジからの下落に注意が必要に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の週足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが下げだし、シグナルは上昇している。またRCIでは短期が下げだし、長期は維持している。特に日足チャートパターンは、下落が始まる上昇ウェッジからの離脱に注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,930,000 円(2025 年 10 月 20 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 110,880 円(2025 年 10 月 20 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>